西湘・小田原で一一 一七周年 水野浩理事長・学校長に聞く

く 一宮尊徳の「報徳

学校法人新名学園 旭丘高等学校

日中高校生交流での学び 平成から新元号へ

20周年を迎えます る西暦2022年には1 新元号の4年目とな

です。本校では、創立1 始まった日中高校生交流 ょうしょ)の「地平天成」 2歴史書である『尚書』(し 0周年記念事業として 「平成」の由来は中国

生徒たちの感想は? れています」

すね。

一平成と共に明治・大正

安でした。新聞やニュー

の王国」とも言われた夏

いました。かつては「幻 ことに驚きの声をあげて 源流が中国の碑文にある 昭和など日本の元号の

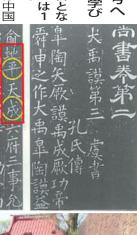
時節が順調にめぐる)の 功績にかかわって用いら 中国古代夏王朝の禹王の 馬謨 (だいうぼ) の中に 経』(かいせいせっけい) されている石刻『開成石 文字を読み取った経験が れた「地平天成」(地上は で、生徒とともに中国の わだやかに治まり、天も に収められた『尚書』大 四安碑林博物館を訪れま た。その第一室に存置 堤碑』『西堤碑』が建てら 在が確かめられています。王朝は、発掘によって実 ての禹王を祀る文命『東 川上流にも、治水神とし が展示され、日本の酒匂 『岣嶁碑』(こうろうひ) の功績を讃えたとされる 林博物館の第四室にはそ 様とも称えられ、西安碑 その初代禹王は治水の神 日中高校生交流は、

の機会となってきたので 両国の生徒に様々な学び 「生徒が最も感銘を受け

です。【最初に中国に行く るのは、人との触れ合い と聞いたときは、正直不

っています】」。

針として掲げたのが、尊 間の一人となれ」という 穷・分度・推譲) でした。 徳の報徳四訓 (至誠・勤 無くてはならぬ指折り仲 新名百刀先生が教育方





直接肌で感じ、私たちが 会った時、彼女は戸惑い 国に着き、安陽のホーム かりました。このような ステイ先の彼女と初めて 汚染や食品衛生など、悪 地域でも増えることを願 と英語で言ってくれまし ス番組を見ていると大気 が報道通りではないと分 んの一部分で、中国全体 い報道ばかりでした。中 交流の機会が他の学校や 今まで見ていた中国はほ よろしくお願いします」 ながらも優しく微笑んで **に。中国の方の優しさを** 証法的な子ども観を唱え、 すじに捨つるなよ、渋柿 徳の農村振興を目的とし 教育を展開。そして、「一 を見よ、甘干となる」と 産する農法、荒地を開墾 今でいう差別と競争のな 会的・精神的自立を促す 賢母型の「知と技の統 社会の要望に応えて良妻 いう「正→反→合」の弁 た捨て苗を集めて米を生 い社会を築くために、尊 円融合」の哲学思想の下、 に砕身すると同時に、社 良田に変える手法に学 「悪しきとて、ただ一

建学の精神と 「報徳四訓」 の教え 信を置く教育を実践しま

を基本にしていると聞き 二宮尊徳の「報徳四訓」 旭丘の建学の精神は、

創立者新名百刀女史像の前に立つ水野浩理事長・学校長 は

戦前は生徒手帳に記

植栽などをします。これ

常五百百年

(下)文命東堤碑・酒匂川・大口。日中高校生交流。 されていました」 の重要性も説かれていた。 社会に還元する「推譲」 も大きな被害を受けまし は免れたものの校舎が大 関東大震災では小田原 自立して得たものを 新名女学校も火災

(上)『尚書』・大禹謨 拠出したという逸話も日 破しました。その復興と が根付いていた証だと思 頃からの「推譲」の教え ら月々の小遣いを2年間 ため、浄財として資金を **業生が婚家に遠慮しなが** 字校再興にあたって、卒

子どもの発達と可能性に 学の精神は今、どのよう は現代では、私立学校の に使うという推譲の精神 る剰余を社会公共のため のでしょうか。 な形で受け継がれている 運動につながっています」 り組まれる私学助成署名 育てる「無償教育」を目 指して毎年全国規模で取 父母の経済的負担を軽減 し、社会として子どもを 「一つは、生活と教育の そうした分度から生じ 尊徳思想に基づく建

ることが必要なのです そして、人々に分け与え と。校訓である報徳精神 ちによく話してくれまし 新名学園に学んで後に教 の宇佐美ミサ子先生は、 葉を伝えています。「百刀 師となったある女性の言 先生は報徳の教えを私た た。手に職をつけること 小田原の女性史研究家 自活できる技です。 びます。森林学習では「里 ります。また、学校農園 ます。 山再生」を目指して学校 は無農薬野菜を作り、正 を利用した農業の授業で り」の一つ陶芸の授業。 合両科」での実践にあり 結合としての「普通・総 しい「食」のあり方を学 電気釜を使って陶器を作 粘土を割りロクロを回し たとえば、「物づく

> あり、「一円融合」の具体 通ずる「分度」の実践で 国の税金の公正な配分に 化であると思います」

教育」その新たな展開 「足元からのグローバル

展を? ル教育」はどのような進 置付けられた「グローバ 110周年を機に位

持 問など地域と結んだ交流 体験、入学式への参列、 集会、同窓会による茶道 談会による手作りの歓迎 生徒会とPTA・父母懇 の生徒たちも4回来日し、 中高校生文化・スポーツ 大会出場生徒などが、 競技部などの代表部員や、 吹奏楽部、剣道部、 2校には、これまで5回 安陽市開発区高級中学の だ、中国の西安外国語大 進めてきました。201 Locally* で、足元から さらに小田原市長表敬訪 交流を実施。中国姉妹校 ヒップホップダンス世界 演劇部、書道部、相撲部、 訪問しています。生徒会、 学附属西安外国語学校と 4年に姉妹校提携を結ん "Think Globally, Act 陸上

われます。

図って出ずるを制する」 関与、参画する点にあり 学校運営に対し、共同で 表明をし、教育づくりや ました。特徴は、生徒会 父母・教職員・同窓生・ 丘高等学校のよりよい学 正式名称は「新名学園旭 構成メンバーの「入るを ます。これは、この会の がこの会の他の構成メン 学園による全学協議会」 校づくりを目指す生徒・ バーと対等の立場で意見 2004年に発足し ていねいに創り出してい

が基盤にあるものです。 徳四訓の「勤労」の精神 学校との共生」「生活と教 ものであり、根底には報 育との融合」の実践その

は、「分度」の実践の一例 も通じるものがあります。 まさに「分度」の実践に どう生かすかという実践、 これもまた、尊徳の唱え技術を習得しています。 業に関する知識や技能、 業や中小企業、公共施設 選択を目指して1年間、 って生まれた天分と、教 あり、今日の「経済と道 た「一円融合」の一例で 等で職場の先輩や社会人 田原を中心とした地場産 育する天分とをそれぞれ じるものだと思います」 徳の結合」の精神にも通 からご指導をいただき職 プを実施しています。小 週1回のインターンシッ 労」と地域づくり、進路 総合学科では、この「勤 「旭丘の「全学協議会」 旭丘の教育には、 を行ってきました。

の園庭に「啄玉」と標し

人類社会の課題を自

西安外国語学校の正門

が寄せられました。

子にも人間的な可能性が

に石碑があります。どの

です。この会の名称は、 自身の討論と意見表明を で、「1あたりの量から瞬 のは数学と理科の授業。 なりました。実施された 習を大切にして生徒たち 成していく授業で、班学 間の変化を把握する微積 数学では二次関数の範囲 開研究授業」という形に 徒を対象として行なう「公 員が西安外国語学校の生 月の訪中の際、本校の教 始まった交流は、昨年3 こうした相互訪問から へと数量の認識を形

で、こんな感想を残して れている中国の生徒たち 持ち、受験的な勉強に慣 ます。高い学力レベルを を忘れてグループの皆さ は新鮮なものだったよう にとって、こうした授業 います。【数学では、公式 いることに対してです。 交流が、中国側からの日

域間交流として発展して

たいとの求めに答える地

観光などの技術を学び

本の先進的な医療・福祉

発展させていきます。

生徒たちは昨年の文化

と思います。普段よく公 合いました。それはいい 式を覚えればいいと思っ んと一緒に考えて、話し て、ほかの可能性は考え

ちのために新たな留学生

に留学を希望する生徒た

中国から日本の大学

西安外国語学校とは昨

生の授業の時、わたしは 思いました】」 その時、化学は面白いと こんな言葉を残していま たです」。同じように化学 ました。とても面白かっ 字の出てくる規則を考え ませんでした。でも、先 議な実験を観察しました。 自分の手で触って、不思 す。【私は自分の目で見て、 でも、自ら行った実験で 公式を捨てて、自分で数 -そうした交流の功績

価されたのは、日中両国 とともに、河南省鄭州市 受賞されました。 した。受賞にあたって評 金のメダルを授与されま の迎賓館において賞状と 中国など各国8名の方々 「昨年9月、アメリカや

点であります。この構想

徒もに

想とシルクロードの出発

西安は「一帯一路」構

ていることが中国の優れ な視野を持って力を入れ を担う人づくりに長期的

学生2

Ŧ

た政策であり、私たちの

政府の「黄河友誼賞」を から、先生は河南省人民

育観が見られるものです。 の建学の精神に通じる教 あるという意味で、旭丘

・スポーツ交流活動と共 年を育成する高校生文化 の架け橋となる未来の青 区高級中学(高校)間の に、姉妹校・安陽市開発 と結んで発展させて行き 交流もこうした未来展望 療系の分野などでインタ 体的には、老人福祉や医 たいと思っています。

神奈川

県勢初の準優勝。 相撲の個人戦で、

「黄河友誼賞」受賞式に出席する水野理事長・学校長 なる積極的なアプローチ の希望に応えるなど、 いという中国の生徒たち が考えられます」 -ンシップにも参加した 2014年策定の「新

スポーツ分野の発展 人間形成の教育

幼児教育などの多様な分

康•医療•福祉•

避路を定める

生徒も

びを深める中で、スポー

万で身体に関する学

総合計画」では、どのよ

出てきています」

域のスポーツ・文化と国 荻窪キャンパス)は、地 備し、第2校地(久野・ 結びついた施設として整

的に認識し、それをより 学習主体・実践主体とし 良く変えていこうとする 史や社会の出来事を科学 捉えています。そして、 ての形成が図られていま 「技」と「知」、「観」を統 する学びを通して、

, 君は8月の全国高

で力強く押し進めていき の財政基盤の確立と結ん 年も新総合計画を、学校 る主権者となるよう、今 じて生徒たちが未来を創 旭丘での教育活動を通

第1校地(城内キャンパ ・市民立の学校像のもと、 進めて行きます。地域立 内建設委員会を設置して るなどの総合整備を、校 全天候型のサッカー場と 第二校地のグラウンドを ス)をより都市の機能と と共に公式試合が出来る 人工芝化し、体育の授業 して使用できるようにす ます 2つの学科・2つの校地 小田原のまちが教室

表として出場し、団体戦

こともに神奈川県代

の準優勝を果たしました。 でこちらも神奈川県勢初 男子の部にダライバート

からの国体相撲少年



高級中学からも、同校内

に国際部をつくり本校と

連携して新たな留学生制

度をつくりたいとの要望

われました。さらに昨年

ラム開発を展望して行な 業も、共同でのカリキュ 先ほど触れた公開研究授

昨年3月、文部科学省

4年後から実施され

12月には、安陽市開発区

の契約を交わしました。

校連携教育プロジェクト」 制度を創造する「中日高

学校法人新名学園 旭丘 http://www.niina-gakuen.jp/